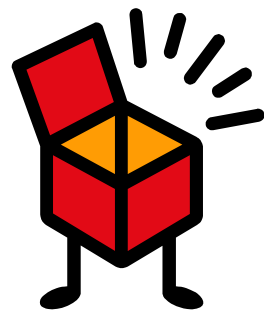


日立金属株式会社 2011年度決算説明



Materials Mag!c

2012年4月26日

 日立金属株式会社
Hitachi Metals, Ltd.

<http://www.hitachi-metals.co.jp>

E-Mail : hmir@hitachi-metals.co.jp

連結業績要約

[単位:億円、()は前年同期比]

	2010年度実績			2011年度実績			2012年度見込		
	1-2Q 累計	3-4Q 累計	年度累計	1-2Q 累計	3-4Q 累計	年度累計	1-2Q 累計	3-4Q 累計	年度累計
売上高	2,542	2,660	5,202	2,617 (103%)	2,952 (111%)	5,569 (107%)	2,840 (109%)	3,060 (104%)	5,900 (106%)
営業利益	219	212	431	165 (△54)	284 (+72)	449 (+18)	220 (+55)	280 (△4)	500 (+51)
経常利益	192	184	376	155 (△37)	288 (+104)	443 (+67)	190 (+35)	265 (△23)	455 (+12)
(特別損益)	△6	△9	△15	△2 (+4)	△77 (△68)	△79 (△64)	20 (+22)	△15 (+62)	5 (+84)
税前利益	186	175	361	153 (△33)	211 (+36)	364 (+3)	210 (+57)	250 (+39)	460 (+96)
当期純利益	103	119	222	68 (△35)	111 (△8)	179 (△43)	125 (+57)	160 (+49)	285 (+106)
設備投資額	82	122	204	101 (+19)	142 (+20)	243 (+39)	170 (+69)	150 (+8)	320 (+77)
減価償却費	135	149	284	134 (△1)	141 (△8)	275 (△9)	140 (+6)	150 (+9)	290 (+15)
研究開発費	57	65	122	58 (+1)	64 (△1)	122 (±0)	61 (+3)	62 (△2)	123 (+1)

2011年度業績概況

■売上高・営業利益

売上高 5,569億円 (10年度対比 107%) **営業利益 449億円** (10年度対比 +18億円)

■需要動向

自動車関連分野 : 国内は年度前半にサプライチェーンの混乱があったものの、海外は北米・アジアを中心に堅調に推移

エレクトロニクス関連 : タブレット端末向け等の需要は堅調に推移、PC向けは低調、液晶関連も調整が継続

産業インフラ分野 : 配管機器等建築関連は震災復旧対応もあり需要増加、エネルギー関連も海外需要が堅調に推移

■セグメント別動向

・**高級金属製品セグメント** : **売上高 2,183億円** (10年度対比 97%) **営業利益 188億円** (10年度対比 △59億円)

⇒工具鋼や自動車関連製品は国内自動車生産の回復もあり堅調に推移、液晶・半導体向けの電子材は調整局面が続く。

・**電子・情報部品セグメント** : **売上高 1,691億円** (10年度対比 126%) **営業利益 238億円** (10年度対比 +96億円)

⇒マグネットはFA・家電向けが後半に調整入りしたが、自動車向けが堅調に推移。アモルファスは中国・インド向けで調整継続。

・**高級機能部品セグメント** : **売上高 1,710億円** (10年度対比 106%) **営業利益 93億円** (10年度対比 △21億円)

⇒自動車用鋳物は震災等によるお客様の生産調整の影響を受けたものの、海外需要が堅調に推移。配管機器は建設持ち直し等により増加。

■当期純利益、ROE

当期純利益 179億円 (10年度対比 △43億円) **ROE 8.3%** (10年度対比 △2.7%)

■設備投資・減価償却費・研究開発費

設備投資 243億円 **減価償却費 275億円** **研究開発費 122億円**

(10年度対比 +39億円)

(10年度対比 △9億円)

(10年度対比 ±0億円)

■海外売上高 2,316億円 (海外売上高比率 41.6%)

北米 558億円(構成比 10.0%) アジア 1,282億円(構成比 23.0%) 欧州 393億円(構成比 7.1%) その他83億円(構成比 1.5%)

■新製品売上高比率 27% (10年度実績 24%)

2011年度セグメント別業績概要

売上高 5,569億円 10年度対比 107%

高級金属製品セグメント 2,183億円 (10年度対比 97%)
 電子・情報部品セグメント 1,691億円 (10年度対比126%)
 高級機能部品セグメント 1,710億円 (10年度対比106%)

■高級金属製品セグメント

特殊鋼は、工具鋼は海外需要に調整の動きが見られたものの、国内向けは好調に推移、電子材は液晶・半導体関連とも調整が継続。ロールは国内需要は低迷が継続したが、新興国需要で伸長。

■電子・情報部品セグメント

マグネットは、FA・家電向けに調整があったものの、自動車関連は国内生産の回復もあり好調に推移。情報部品は、携帯電話関連製品の需要減や太陽光関連製品の在庫調整が続き低調に推移。アモルファス(軟磁性材料)は、中国での入札手続遅れに加え、後半にインド市場での調整もあり減少。

■高級機能部品セグメント

自動車用鋳物は、NM(ダクタイル鋳鉄製品)は北米・アジア市場での販売が好調に推移、ハーキュナイトは後半欧州市場で調整の動きがみられたものの環境対応ニーズは変わらず海外自動車メーカーを中心とした需要継続、アルミホイールは国内外とも回復。配管機器は建設持ち直し等により増加。

営業利益 449億円 10年度対比 18億円増

高級金属製品セグメント 188億円 (10年度対比 59億円減)
 電子・情報部品セグメント 238億円 (10年度対比 96億円増)
 高級機能部品セグメント 93億円 (10年度対比 21億円減)

エレクトロニクス関連製品の調整があったものの、国内自動車生産の回復や海外需要等により、稼働が堅調に推移。原価低減効果や原材料価格の転嫁までの期間短縮等も寄与し、前年度対比18億円の増益となった。

2010年度実績

10/1Q-2Q
(10/4-9)

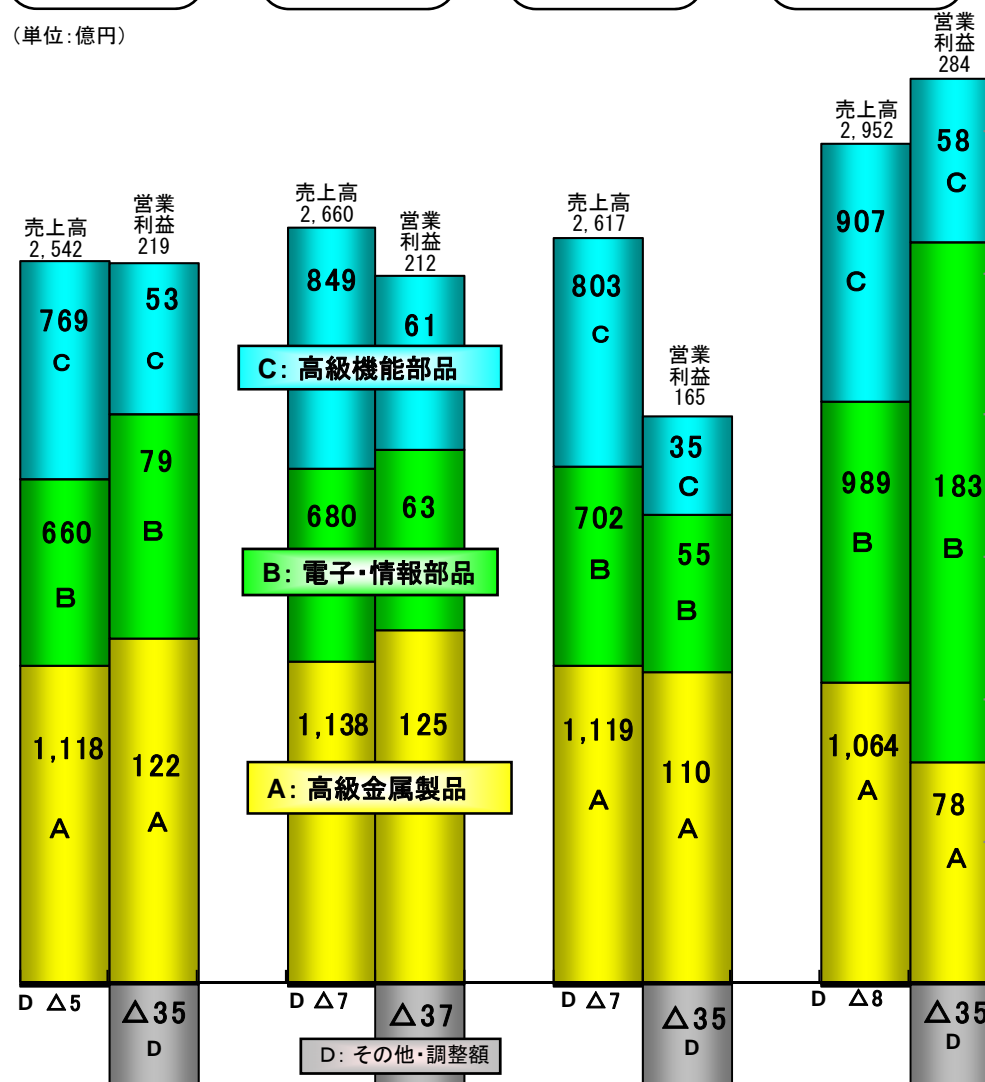
10/3Q-4Q
(10/10-11/3)

2011年度実績

11/1Q-2Q
(11/4-9)

11/1Q-3Q
(11/10-12/3)

(単位:億円)



2012年度業績予想

売上高 5,900億円 (11年度対比 106%)

営業利益 500億円 (11年度対比51億円増)

■高級金属製品セグメント

売上高 2,380億円 (11年度対比109%)

営業利益 220億円 (11年度対比32億円増)

■電子・情報部品セグメント

売上高 1,760億円 (11年度対比104%)

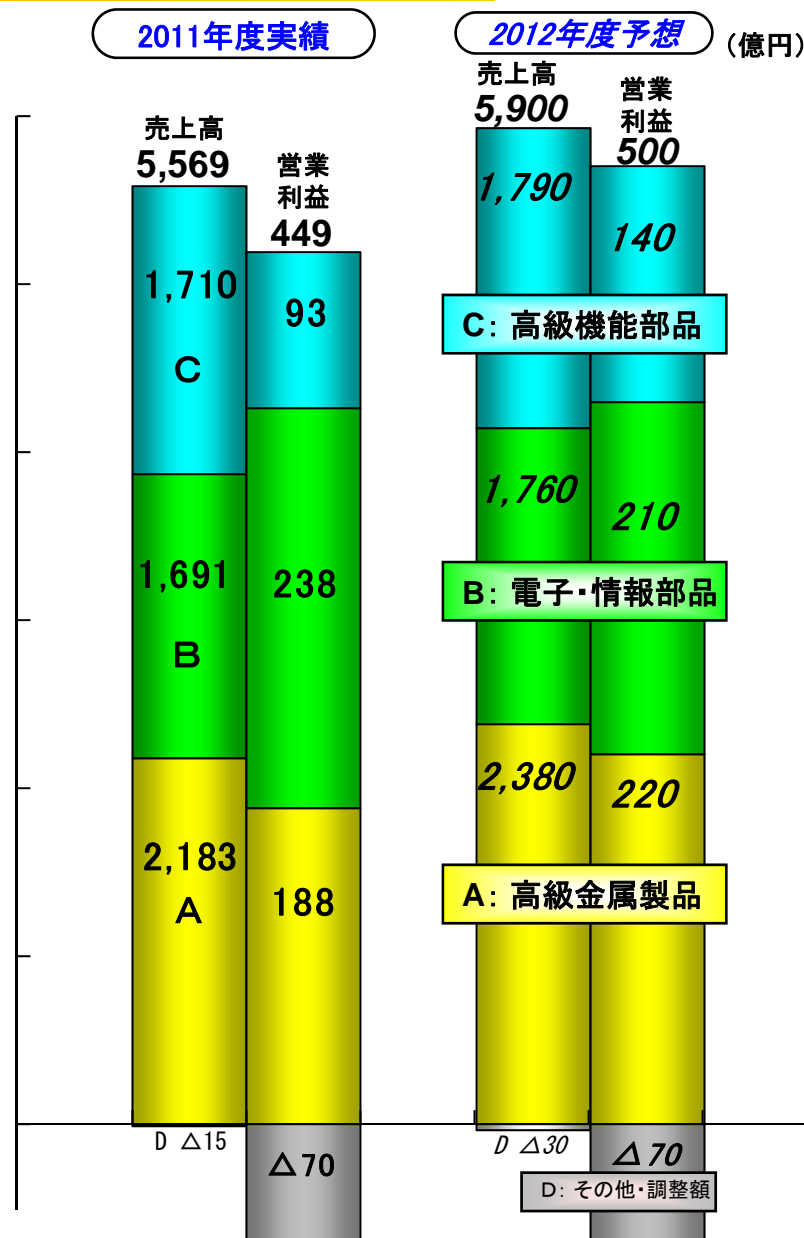
営業利益 210億円 (11年度対比28億円増)

■高級機能部品セグメント

売上高 1,790億円 (11年度対比105%)

営業利益 140億円 (11年度対比47億円増)

エレクトロニクス関連は緩やかに回復、国内および海外の自動車関連の需要も堅調に推移する見込み。
グローバル市場での拡販を展開するとともに、コスト構造の見直しも進め、成長を図っていく。

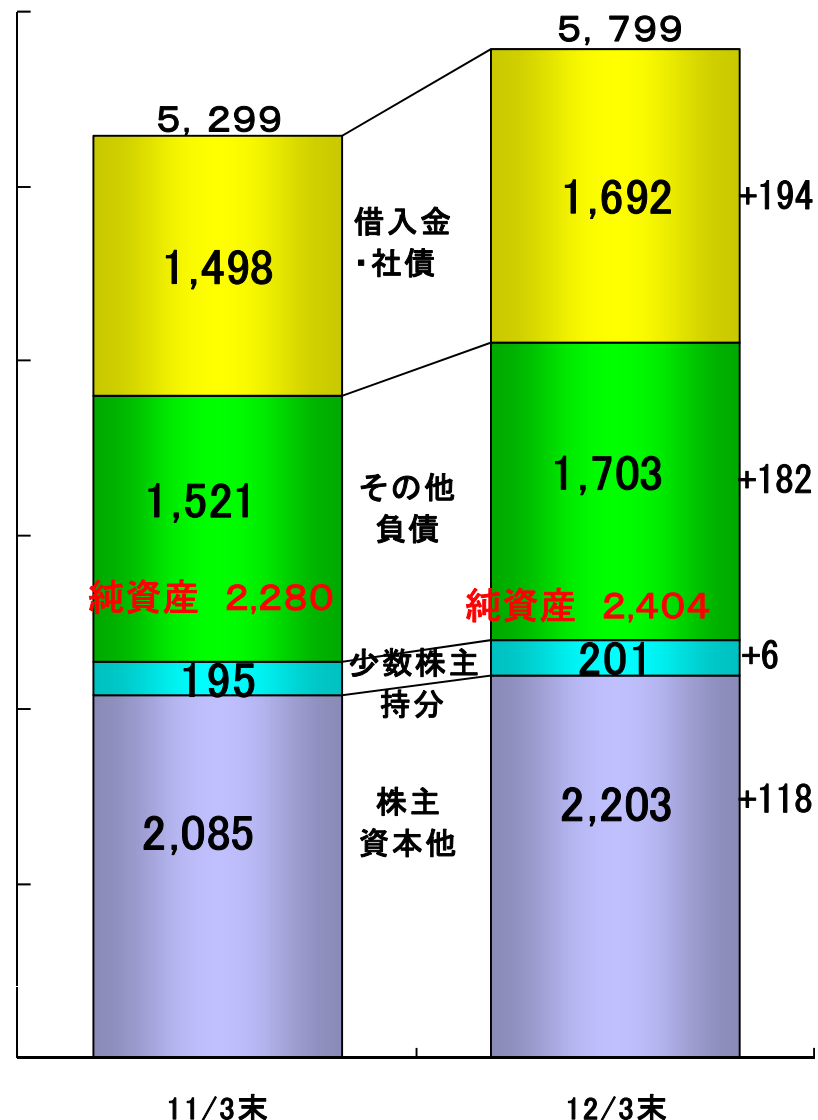
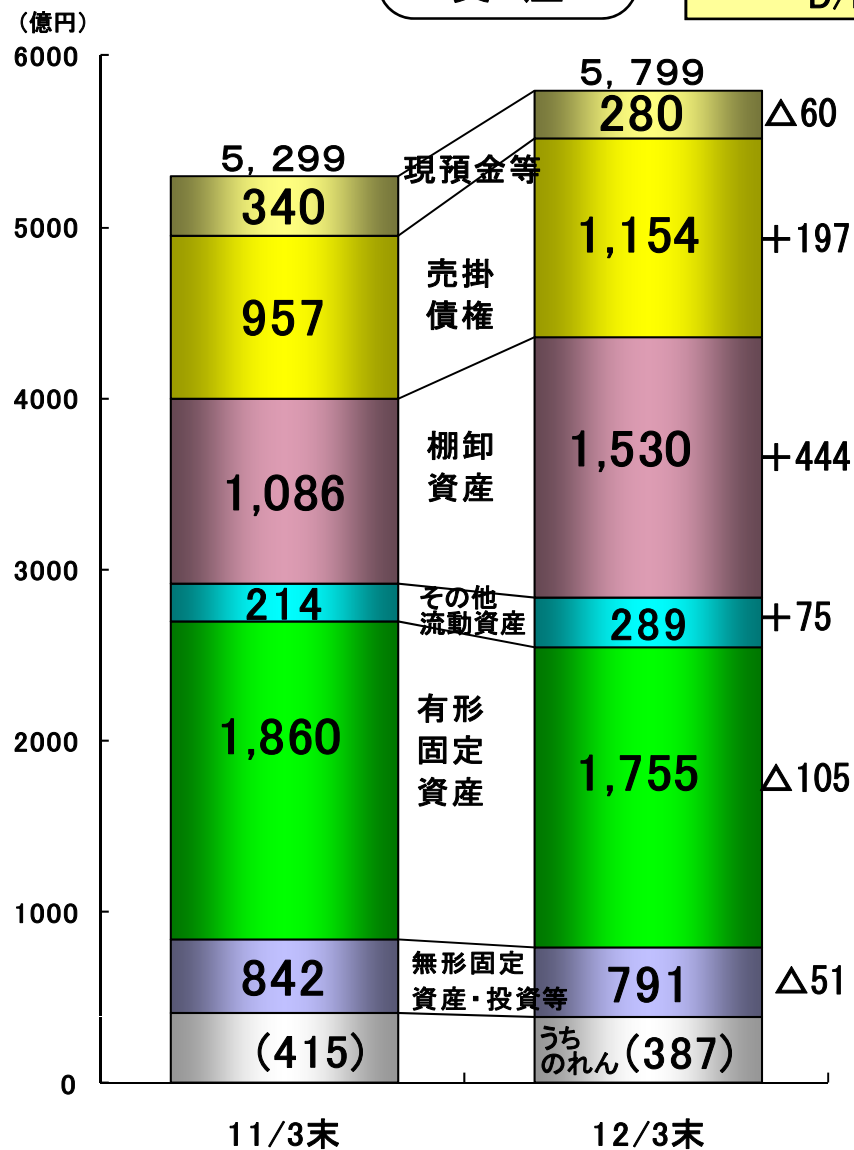


連結B/S残高

11年3月末比増減 500億円増
D/Eレシオ 0.77

資産

負債・純資産



連結キャッシュ・フロー

(億円)

科 目	10年度実績	11年度実績
現金及び現金同等物期首残高	436	340
税金等調整前当期利益	361	364
減価償却費	284	275
棚卸資産の増減	△251	△453
その他	33	△156
営業キャッシュ・フロー	427	30
設備投資	△197	△227
その他	△49	9
フリーキャッシュ・フロー	181	△188
借入金・社債の増減	△186	196
配当金支払他	△66	△65
ネットキャッシュ・フロー	△71	△57
為替換算差額他	△25	△3
増加額または減少額合計	△96	△60
現金及び現金同等物期末残高	340	280

(注) 設備投資は検収ベース

(参考) 日立金属の事業構造

材料開発をベースに幅広い産業分野で「質」を提供する素材メーカー



(参考) 日立金属 セグメント別事業内容

事業セグメント	事業ユニット		主要製品
高級金属製品セグメント	高級金属カンパニー	特殊鋼事業部	高級特殊鋼[YSSヤスキハガネ] : 金型・工具用材料、電子金属材料[ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料]、産業機器・エネルギー関連材料、剃刃材および刃物材
		ロール事業部	各種圧延用ロール(鉄鋼・非鉄・非金属)、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品
		軟磁性材料事業部	アモルファス金属材料[Metglas®]
	日立ツール株式会社	切削工具	
電子・情報部品セグメント	電子・情報部品カンパニー	NEOMAX事業部	マグネット(希土類磁石[NEOMAX®]・フェライト磁石等各種磁石およびその応用品)
		情報部品事業部	情報通信機器用部品、IT機器用材料・部品、医療機器用材料・部品、ソフトフェライトコアおよびその応用品、ナノ結晶軟磁性材料[ファインメット®]およびその応用品、アモルファス金属材料[Metglas®]およびその応用品
高級機能部品セグメント	高級機能部品カンパニー	自動車機器事業部	自動車用高級鋳物部品(排気系耐熱鋳造部品[ハーキュナイト®]、高級ダクタイル鋳鉄製品[HNM®]、アルミホイール[SCUBA®]、その他アルミニウム部品、自動車用鍛造部品)
		配管機器事業部	設備配管機器(®印各種管継手、ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷水供給機器、精密流体制御機器、密閉式膨張用タンク)
	日立機材株式会社		建築部材(内装システム、構造システム、マテハンシステム)

本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となるもの主なものは次のとおりです。

- ・主要市場(特に日本、米国、アジア、欧州)における経済状況および各種規制
- ・急激な技術変化
- ・競争優位性および新技術・新製品の開発・事業化を実現する当社および子会社の能力
- ・製品市場、製品市況の変動
- ・為替相場の変動
- ・国際商品市況の変動
- ・資金調達環境
- ・製品需給、製品市況、為替相場および国際商品市況等の変動に対応する当社および子会社の能力
- ・自社特許の保護および他社特許の利用の確保
- ・製品開発等における他社との提携関係
- ・日本の株式相場の変動